

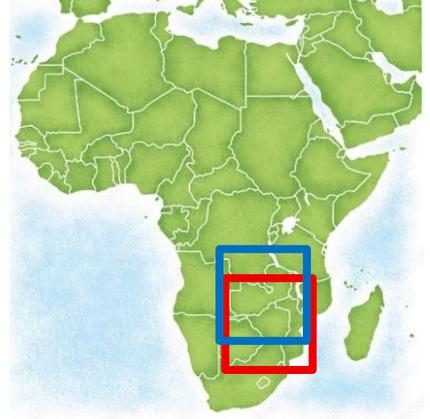


# ナミビア通信

JICA 青年海外協力隊  
2023 年度 | 次隊  
エロンゴサ小学校  
吉野 葵  
2025 年 7 月 第 41 号

皆さんこんにちは。ナミビアの小学校で先生をしている吉野です。

今日も前回のナミビア通信に引き続き、私が長期休みに訪れた国を紹介していきます。今日紹介する国は「ジンバブエ共和国」と「ザンビア共和国」です。ジンバブエは、前回紹介したボツワナの東に隣接しており、北はザンビアと隣接しています。私は、ナミビアの首都ウィントフックから飛行機でジンバブエのビクトリアフォールズ空港まで行きました。ジンバブエからザンビアへは徒歩で国境越えをしました。



## ジンバブエ共和国・ザンビア共和国

### 基本情報【ジンバブエ共和国】

面積	38.6万km <sup>2</sup> (日本よりやや大きい)
人口	1665 万人 (2023年データ)
首都	ハラレ
民族	ショナ族、ンデベレ族、白人
言語	英語、ショナ語、ンデベレ語他(憲法で承認される言語は 16 言語)
宗教	キリスト教、土着の伝統宗教

参考・引用(ジンバブエ共和国 | 外務省)



←国旗 (参考: [ジンバブエの国旗 - Wikipedia](#))

緑は農業、黄色は天然資源(ジンバブエは農業・鉱山業・観光業が盛んなようです)、赤は独立戦争で流された血、黒はアフリカ先住民の伝統と民族、白は平和を象徴しているそうです。また左に描かれている鳥はジンバブエの世界遺産である「グレートジンバブエ」という遺跡で発掘された彫像を表しているそうです。

通貨 (現在、一般的には米ドル(アメリカの通貨)が使われています。)

昔はジンバブエドルという通貨を使っていましたが、お金の価値が急激に下がってしまうこと(簡単にいうと、昨日まで100円だったものが今日は1000円!というような現象)が起こり、お札の数字がどんどん大きくなったのちに廃止され、米ドルが使われるようになりました。2024年からはジンバブエゴールドという通貨が導入されたのですがほぼ使われることなく、現在も米ドルが一般的なようです。



↑使えなくなったお札がお土産として売っていました。このお札の数字は5百億。もっと大きな数字もありました。

**料理** 基本的にナミビアと似ています。同じ料理でもナミビアとは呼び方が違うものもあり面白かったです。



↑ザンベジブリーム

ザンビアとジンバブエの国境にもなっている「ザンベジ川」で採れるコイ科の魚。ナミビアでも食べることができます。



↑Umhwaaba Ledobi

何度聞いても読み方が覚えられませんでした。干し肉をピーナッツソースで煮込んだものです。ナミビアにも干し肉を野菜やソースと一緒に煮込んだ料理があります。



↑マルグ(Marugu)、サザ(Sadza)

マルグは牛の胃袋をソースで煮込んだものです。ナミビアではマタンガラと呼びます。サザはトモロコシの粉をお湯で練ったもので、ナミビアではパップと呼んでいます。

基本情報【ザンビア共和国】

参考・引用(ザンビア共和国 | 外務省)

面積	752.61千km <sup>2</sup> (日本の約2倍)
人口	2057万人 (2023年データ)
首都	ルサカ
民族	73部族 (トンガ系、ニャンジャ系、ベンバ系、ルンダ系)
言語	英語 (公用語)、ベンバ語、ニャンジャ語、トンガ語
宗教	キリスト教、その他 (イスラム教、ヒンドゥー教、伝統宗教)

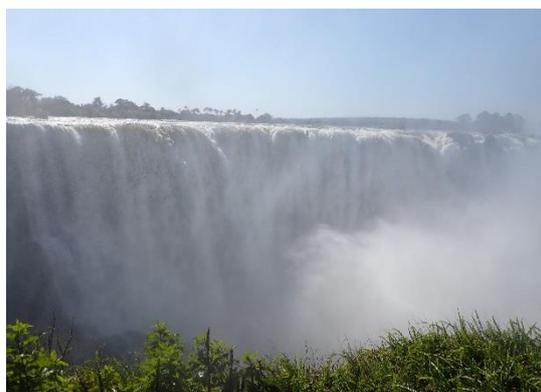


←国旗 (参考: [ザンビアの国旗 - Wikipedia](#))

緑は大自然、赤は自由への苦闘 (血)、黒は国民 (肌)、オレンジは天然・鉱物資源 (銅) を象徴していて、右上の鳥は国鳥のフィッシュイーグルだそうです。

2つの国にまたがる「ビクトリアフォールズ (Victoria Falls)」

ジンバブエとザンビアの国境に位置する世界遺産のビクトリアフォールズは、滝の落差と幅を総合すると世界最大級の大きさを誇っています。2つの国の間に位置しているため、ジンバブエ側とザンビア側の両方から滝を見ることができます。1855年にイギリスの探検家に発見されて、世界に広く知られるようになったそうです。



↑ビクトリアフォールズ (ジンバブエ側)



↑滝のある場所